



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2023-24 クラブテーマ **気づき、ひらめき、ひろげよう**



2024. 1. 22

No.2474 No.22



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会 長

熊倉 高志

一月は年の初めの月です。今日はそのあいさつ等でよく聞かれる“初心”についてお話ししたいと思います。

初心忘るべからず。この初心とは室町時代に風姿花伝をかいた能楽師、世阿弥のこぼで花鏡の中にあります。もともと風姿花伝は能の創始者である、父の観阿弥の教えをまとめたものとされ、7歳からはじまり50歳代までの能の秘伝書です。そもそも能は申楽から発展したものとされ、申楽は聖徳太子の時代にさかのぼり、神楽（かぐら）を楽しみを申すとしたことが由来とも聞いています。

さて、本題の初心ですが、大きく3つあるとしています。それは花鏡の奥の段に万能（まんのう）一徳の一句があり、それが初心忘るべからずで、三ヶ条の口伝として是非・時々・老後の初心をあげています。

是非の初心とは、自らの批判規準つまり何が正しいか正しくないかとなる初心を忘れてはならないこと。

時々の初心とは、自分のそれぞれの時期における初心を忘れてはならないこと。

老後の初心とは、老後の初心を忘れてはならないこと。

他にも、先聞後見（せんもんごけん）、まず観客の耳に訴える謡を聞かせ、そうしてしぐさをそれよりすこし遅らすように演ずる。その聞（もん）から見（けん）に移る微妙な瞬間に、聴覚美と視覚美の融合した感が生まれるとのこと。また舞声為根（ぶしゅういこん）では舞や歌は内臓の神秘に根源を有するものだともいっています。

秘すれば花なり。秘せずは花なるべからず。初心忘るべからずだけでなく、出典元の一読をおすすめします。

◆本日の出席：40名中27名

◆本年度通算出席率：84.83%

◆先週までのメイクアップ：

▷11/11R | 2560 地区ロータリー財団正副委員長会議（新潟市）木村譲さん

▷1/20 R | 2560 地区財団ミーティング（新潟市）木村譲さん

ニコニコボックス

1/22 8,000円 本年度累計 36,000円

熊倉会長「本日の話は準備が足りず、まとまるか不安です。よろしく願います」

吉沢幹事「熊倉会長、卓話よろしくお願い致します」

田代さん「熊倉会長、あいさつに加わえ、卓話までお勤めありがとうございます」

坂井さん、銅冶さん、広岡さん、坪井さん
「BOXに協力します」

西湯さん「年明けから日経平均株価が上がっています。要因として、日銀のマイナス金利解除等が遅れそうなこと、新NISAが始まったこと、外国人投資家が日本株に目を向けていること等が考えられるようです。」

BOXにご協力ありがとうございました」

今後の例会予定

2月 5日（月）夜例会「新年会」

会場：松木屋

※ 欠席の方は事務局で記帳できます

近隣クラブの例会変更

1月30日（火）三条北RC 夜例会「新年会」

（記帳場所）三条ロイヤルホテル



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードンR. マッキナリー（スコットランド）

第2560地区ガバナー 米山 忠俊（三条北）

第4分区分会ガバナー補佐 小出 和子（三条東）

会 長 熊倉 高志

幹 事 吉沢 栄一

SAA 田中 康之

事務局

〒955-8666 三条市町2-5-10

三条信用金庫本店内

TEL 0256-35-3477

FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL https://www.sanjo-minami.jp

本日の卓話は当初、新会員卓話の予定でしたが都合がつかず、急遽、私の話となりました。新会員の方にも役立つように、“卓話とは”の切り口から準備不足で申し訳ありませんが、徒然なるままに進めさせていただきます。よろしくお願いたします。

まずはロータリーについてから。1905年にポールハリスによりシカゴにて4人のメンバーから始まりました。卓話（テーブルスピーチ）とは意見発表の場のようなもので、ロータリーの卓話は職業・趣味・ロータリーについて語る、とあります。そもそも発足当初もサロン（応接や談話の意味）のような場を設け、自分たちの生業が地域の中でネットワーク構築に役立つことと始めたとされます。

日本人は卓話が苦手な人が多いと思うのですが、ここでは私たちが西洋人に比べて自己主張が苦手な理由を考えてみたいと思います。欧米でもアメリカではディベートを子供のころから学校で授業の一環として行い、あるテーマで自分たちが正しいことを相手に認めさせる訓練を日常的にするのだそうです。

さて、強引ですが、この機会に自分なりにまとめた日本の仏教の歴史を“どうしたら救われるのか”という観点から語りたと思います。

はじめは神道から古墳時代を経て飛鳥時代に仏教が伝わります。南都六宗は飛鳥時代から奈良時代にかけて興福寺や法隆寺、東大寺他で鎮護国家のために始められました。道鏡（700-772）という僧が天皇の地位に就こうとしたことから問題となり、中国での僧たちの研鑽目的に大陸に派遣したのがきっかけで、800年ころ平安二宗は最澄（天台宗）と空海（真言宗）により、即身成仏、密教へとつながっていきます。平安時代も終わりに近づき、末法思想という1052年に末法入り（釈迦はBC10世紀、2000年前の人）とされ、世の中は不安に明け暮れます。ここまでが「学派」と呼ばれる集団で“修行をすることで救われる”としていました。

この後は「教団」というくくりになり、修行をしなくとも祈るだけで救われるという宗派に人気が集まります。源信（942-1017）は浄土教をはじめ、鎌倉仏教では法然（1133-1212）が浄土宗で専修念仏をかかげて、普通の人も“念仏を唱えれば救われる”としました。その弟子、親鸞は浄土真宗です。修行の身でも妻をめとることも可としました。その後は武家に人気の禅宗（主に座禅を組むこと）として栄西（1141-1215）は臨済宗（問答をかわす）、道元（1200-1253）は曹洞宗（只ひたすらに座禅）、日蓮（1222-1282）は日蓮宗（法華経）、一遍（1239-1289）は時宗（踊念仏）とどんどん庶民へも身近となっていきます。

さて、ここで宗教と自然哲学の話になりますが、東洋、日本ではなぜ自然哲学の実りが少なかったといわれるのか。先の話のように神や仏に縛られてきた日本人は現実のなぜについての方向にベクトルが向かわなかったのですね。

驚くことに遠くギリシャ時代にはアテネやスパルタでは民主主義がおこり、神話と自然哲学を切り分けたことが今につながっています。BC600ころ、タレスは万物の根源は水とし、アナクシメスはそれを空気としました。

BC400ころソクラテスは無知の知を唱え、プラトンやアリストテレスへとつながっていきます。これらが日本に入って200年程度、彼らの、音楽を含む芸術や科学は私たちとようやく交わるようになったばかりなのです。意見を交わすことの苦手な国民性の違いが根本にあるように思います。日本は「お上」の歴史が長く、本当の民主主義はまだ先なのでしょうか。



2024-25年度 会長テーマ講演より (抜粋)

The Magic of Rotary

マクマーリー・ロータリークラブ（米国ペンシルバニア州）の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。

「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」

平和を優先する

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。

ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があると、アーチック氏は述べました。世界各地の名門大学に拠点を置く平和センターは、現在140カ国以上で活躍する約1,800人の平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるパーチェシエヒル大学に設置される最新の平和センターでは、2025年に第1期フェローが学業を開始します。

「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20年以上前に始まりました」とアーチック氏。「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」

アーチック氏はさらに、ポリオ根絶へのコミットメントについても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティへの参加や、各地区でのソサエティの創設など、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。

「地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」